

第 2 期仙台市教育振興基本計画 骨子（案）

1. 基本的事項

(1) 計画策定の基本的考え方

- 「10年間で目指す教育の姿」を踏襲し、これを達成するべく、第1期計画に掲げられた施策や事業をベースとして、後期5年間で取り組む計画として策定する。
- 第1期計画期間内に生じた新たな課題や環境の変化、これまで積み重ねてきた仙台ならではの教育をさらに拡充・展開するべく、本市の特色を表す新たな枠組みを設け、重点的に取り組む。
- 「教育の振興に関する施策の大綱」に示された基本方針を踏まえるとともに、国における教育施策の方向性も見据え策定する。

(2) 対象範囲・実施主体（第1期計画と同様）

- 対象範囲を教育委員会が所管する各分野、実施主体を教育委員会とする。

(3) 計画期間

- 平成29年度から平成33年度までの5年間とする。

2. 全体構成案（※タイトルは仮称。○印は主な内容）

第1章 計画の策定について

- 策定の趣旨
- 計画の位置づけ（法的、本市上位計画との関係）
- 計画の期間

第2章 教育をめぐる現状とこれまでの取組状況

- 教育をめぐる社会状況（東日本大震災からの復興を含む）
- 第1期計画の取組状況と課題
- 国の動向

第3章 目指す教育の姿（※現計画から引き続く10年間の目標）

- 育みたい力… 時代の変化を受けとめ、未来を切り開いていく力
 - ▽ 源となる4つの力
- 目指す教育の姿… 人がまちをつくり、まちが人を育む『学びのまち・仙台』
 - ▽ 「学びのまち・仙台」を築くための3つの目標

第4章 取り組みの基本的方向

- 仙台カラー（「学びのまち・仙台」の実現に向けた重点的な施策）
- 基本的方向1 学校教育
- 基本的方向2 生涯学習
- 基本的方向3 地域・家庭
- 基本的方向4 教育環境

第5章 計画の推進体制

- 計画の進行管理、関係部局との連携、情報の発信

第4章 取り組みの基本的方向（骨子）

（リード文）

第3章に掲げた目指す教育の姿の実現に向け、次の考え方に沿って取り組みの基本的方向を4つに分類するとともに、この中で重点的に推進する特色ある取り組みを選び抜き「仙台カラー」とする。

（4つの基本的方向の分類の考え方）

- 「時代の変化を受けとめ、未来を切り開いていく力」を育み、身に付けていくためには、子どもの時から、将来を見据えながらその育ちに応じた学びを充実させていく必要がある。
⇒『学校教育』に関する方向性
- さらに、生涯を通じた主体的な学びを継続し、その成果を発揮することにより、豊かな人生へとつながるとともに、多様な活動と活力が生み出される契機となる。
⇒『生涯学習』に関する方向性
- 子どもから大人まで生涯にわたる学びは、学校を始めとする様々な教育資源とともに家庭や各種地域資源との連携・協働により支えられているものであり、さらには、次の学びを支える地域づくり・人づくりへと循環していく。
⇒『地域・家庭』に関する方向性
- 学びを取り巻く時代の変化を受けとめ、先を見据えながら、こうした学びと学びの循環を支える土台をより確かなものとし、充実させていく必要がある。
⇒『教育環境』に関する方向性
- さらに、本市における新たな課題への的確な対応やこれまで積み重ねてきた特色ある取り組みを重点的に推進してこそ、各取り組みの方向性を充実させていくことができる。
⇒『仙台カラー』

これらの方向性により施策展開を図っていくことで、目指す教育の姿「人がまちをつくり、まちが人を育む『学びのまち・仙台』」を実現していく。

（構成のイメージ）

仙台カラー

「『学びのまち・仙台』の実現に向けた重点的な施策」
～「仙台ならではの」施策の推進～

- | | | |
|--------|-------|-----------------------|
| 基本的方向1 | 学校教育 | 「心豊かでたくましい子どもを育てる」 |
| 基本的方向2 | 生涯学習 | 「学びにあふれ交流するまちをつくる」 |
| 基本的方向3 | 地域・家庭 | 「ともに子どもを育て、豊かな学びをつくる」 |
| 基本的方向4 | 教育環境 | 「学びを支える確かな土台づくりを進める」 |

仙台カラー：『学びのまち・仙台』の実現に向けた重点的な施策

～「仙台ならではの」施策の推進～

- 歴史や伝統、豊かな自然はもとより、大学や企業の集積、市民主体の広範な活動など、仙台の強みとも言える多様な資源を既存の教育資源とともに学びの資源として生かしていくことは、施策全体を通してもちろん大事な視点。
- その中にあっても特に、「学びのまち・仙台」の実現に向けた今後5年間における取り組みとしては、本市における新たな課題や社会環境の変化に対応した独自の取り組み並びに本市がこれまで積み重ねてきた特色ある施策をさらに拡充・展開していくことが重要。
- そうした「仙台ならではの」取り組みを、第2期計画において重点的に推進。

(特色と施策)

■本市の課題に対応した取り組み

▼心と命を守り育む教育の推進（いじめ防止・自死予防・不登校対策の推進）

■震災を教訓とした取り組み

▼防災教育の浸透・震災を風化させない取り組みの推進

（仙台版防災教育の推進，児童生徒による故郷復興プロジェクト）

▼震災後の心のケアの継続

■学校教育における特色ある取り組み

▼社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育む「自分づくり教育」の推進

（子ども体験プラザ事業，「たくましく生きる力」育成プログラム，楽学プロジェクト）

▼学力向上に関する独自の取り組みの推進

（標準学力検査・生活学習状況調査，家庭学習ノート，科学館学習，天文台学習）

▼体力向上・学校給食に関する独自の取り組みの推進

（トップアスリート派遣による授業支援，食物アレルギー対応食提供事業）

■仙台の学びを支える多様な人材と資源

▼アートによる地域資源の再発掘，地域人材の育成

（アートメディアを利用した市民力育成事業，アート・ノード・プロジェクト）

▼多様な活動を支援するボランティアの育成

（学校支援ボランティア，学校ボランティア防犯巡視員，託児ボランティア，外国人子女等指導協力者，各社会教育施設ボランティア，文化財サポーター等）

▼多面的な学びの機会を創出する取り組みの推進

（市民センター事業，社会学級，仙台・宮城ミュージアムアライアンス，大学との連携協定）

■学校と地域が子どもを支える取り組み

▼地域とともに歩む学校づくりの推進

（学校支援地域本部事業，協働型学校評価の実施と充実，放課後子ども教室，嘱託社会教育主事）

基本的方向1： 学校教育「心豊かでたくましい子どもを育てる」

- 学校は、心身の発達に応じた体系的な教育を行うことによって、子どもたちが生涯を主体的にかつ幸福に生きるための基礎を養う場。
- 従って、幼児期からの成長に沿った切れ目のない教育が大事。
- 学校教育においては、命を大切にし自己を認め他者を思いやる「豊かな心」、健康で生き生きと過ごすことができる「健やかな体」、基礎知識から応用力までの「確かな学力」、これら3つをバランスよく育てていくことが必要。
- 子どもや学校を取り巻く地域の力にも支えられながら、多様な教育課題へのきめ細かな対応を進め、学校教育の充実に不断に取り組み、子どもたちの個性を伸ばし、将来社会の中で個人として社会の一員としてたくましく生きる力を身に付けさせる学校教育を実現する。

(ミッションと施策)

■未来の創り手となるための力の育成

- ▼社会的・職業的自立に必要な態度や能力の育成（自分づくり教育の推進等）

■豊かな心の育成

- ▼いじめ防止・自死予防・不登校対策の推進
(いじめ防止対策推進，心の健康教育の推進，スクールカウンセラー配置事業，スクールソーシャルワーカー活用事業等)
- ▼互いを理解し思いやる心を育む取組みの推進（道徳教育，人権教育の推進等）

■健やかな体の育成

- ▼運動能力向上につながる取組みの推進（児童生徒の体力・運動能力向上推進）
- ▼望ましい生活習慣づくりの推進（学校における食育の推進，学校給食）

■確かな学力の育成

- ▼幼児期からの切れ目のない教育の推進
(幼保・小の連携，小中連携の推進，小1生活・学習サポーターの配置，中1ソフトランディングプログラム等)
- ▼基礎的知識の定着・応用力の育成・学習意欲の向上を図る取組みの推進
(標準学力検査，小学校理科学習の充実等)
- ▼学習が遅れがちな児童生徒など個に応じた指導や支援の充実
(少人数指導の実施，放課後を活用した補充学習の推進等)

■震災の教訓を活かした防災力の育成

- ▼防災教育の推進（仙台版防災教育の充実）
- ▼震災の記憶を風化させない取組みの推進（児童生徒による故郷復興プロジェクト）

■多様なニーズに対応した教育の充実

- ▼特別支援教育の充実
(就学支援推進事業，特別支援学級指導支援員・特別支援教育指導補助員の配置等)
- ▼日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実（外国人子女等指導協力派遣事業）

基本的方向 2 : 生涯学習「学びにあふれ交流するまちをつくる」

- すべての市民が生涯を通じて学び、自己を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、充実した多様な学びの機会を提供するとともに、市民の主体的な学びを支えていくことが求められる。
- 仙台には、多様な社会教育施設があるほか、豊かな自然や歴史、文化・芸術、大学をはじめとする高等教育機関や企業の集積等々、学びの資源が豊富にあるとともに、社会学級や市民センターなどにおける自主的な学びの中から多くの人材が育ち、様々な分野で活躍をしている。
- これらの資源の活用や人材との連携により、市民一人ひとりの学びが深まり、人々とのつながりが生まれ、まちづくりを支える原動力となってきた。このように、多様な学びを充実させていくことで、その活動を通して新たな出会いや交流、活力が生み出される。
- これらにより、活動の楽しみが膨らんだり、自分が学んだ成果を何かに役立てることができたりすれば、学ぶ意欲がさらに湧くとともに、交流の輪がより一層大きく広がるという好循環が生まれる。
- 市民一人ひとりの学び、人と社会をつなぐ豊かな学びを広げて、誰もが仙台に住みたい、住み続けたいと思える学びの機会にあふれた魅力あるまちを目指す。

(ミッションと施策)

■人と社会をつなぐ多様な学びの機会の充実

▼ライフステージに応じた学びとネットワークづくりの支援（社会学級、若者社会参画型学習推進事業、子ども参画型社会創造支援事業等）

■多様な社会教育施設による多彩な学びの充実

▼各社会教育施設による学びの機能の充実

（メディアテーク、大倉ふるさとセンター、泉岳自然ふれあい館、歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、縄文の森広場、博物館、科学館、天文台、図書館、市民センター）

■豊かな資源を活用した学びの提供・魅力の発信

▼仙台の歴史や文化の継承と発信（仙名城跡整備推進事業、文化財普及啓発事業）

基本的方向3： 地域・家庭「ともに子どもを育て、豊かな学びをつくる」

- 学校を中心に、家庭や地域が相互の信頼関係のもと協働して子どもの教育に関わることで、学校だけでは実現できないより豊かな教育活動を創出する。
- 併せて、学校・家庭・地域の連携による子どもの育ちを支える環境づくりなどを通し、人と社会をつなぐ豊かな学びを創出していく。
- また、基本的な生活習慣、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心を身に付けるなど、家庭教育は子どもの成長にとって重要な役割を担うもの。
- しかしながら、都市化の進展や家族構成、親の意識の変化などによる家庭の教育力の低下が指摘されている。
- このため、子育てやしつけなどに関して親が学び考える機会や、親子がコミュニケーションを深め、楽しみながら共に成長するための体験や学びの機会の充実など、家庭での親と子の学びを応援する取り組みを進める。

(ミッションと施策)

■地域とともに歩む学校づくりの推進

- ▼地域・家庭と連携した「学校における課題」の解決
(学校支援地域本部事業、放課後子ども教室等)

■身近な学校を活用した地域の学びの場の提供

- ▼地域に対する学校施設の開放(学校体育施設開放、学校図書室開放等)

■親子のふれあいの場や家庭教育の気づきの場の提供

- ▼親子と一緒に学びふれあう機会の充実(家庭学習ノート仙台、親子食育講座の実施)
- ▼親が学ぶ機会の充実(子育て講座の実施)
- ▼親の不安や悩みを解消する取り組みの推進(子どもの教育に関する相談支援)

■地域を支える人づくりと地域づくりへの貢献

- ▼地域の学びを支える人材の育成
(住民参画・問題解決型学習推進事業、嘱託社会教育主事)

基本的方向4： 教育環境「学びを支える確かな土台づくりを進める」

- 子どもから大人まで市民が安心して豊かな学びを享受するためには、その学びを取り巻く環境を確かなものに整備していくことが必要。
- そのために、子どもの学び・育ちに大きな影響を持つ教職員がしっかりと子どもに向き合える体制づくりや力量ある教職員の育成を進める。
- 通学路など学校周辺の安全・安心の確保とともに、学校施設の環境整備を進める。
- さらに、時代の要請に応えられるよう、学校教育における ICT 環境整備を進める。
- 併せて、社会教育施設などの学びの環境の質を高め、充実させていく。
- また、教育機会の均等な確保を図る学びのセーフティネットを充実させる。

(ミッションと施策)

- 教職員がより子どもに向き合える体制づくり
 - ▼教職員の多忙化解消の推進
(学校間事務連携事業，校務支援システム導入等)
- 教員の資質向上と即戦力となる教員の採用・育成
 - ▼教員の資質・力量向上の取組みの推進
(教員の授業力向上のための研修，教科指導エキスパートの派遣等)
 - ▼求める教員像に即した人材の確保 (仙台市教員採用候補者選考事業)
- 子どもたちの安全・安心の確保
 - ▼学校内や通学路における巡視 (学校防犯巡視員派遣，学校ボランティア防犯巡視員)
- 安全安心な学びの場の提供
 - ▼学校・社会教育施設の長寿命化や適正な保全・更新 (学校教育施設整備事業等)
- ICT環境の充実
 - ▼ICT環境の適切な整備 (学校におけるICT環境整備)
- 学びのセーフティネットの充実
 - ▼教育を受ける機会の均等な確保 (就学援助事業等)